

**米 SolarWinds 社のネットワーク・サーバ統合監視・管理ソリューション
製品ラインナップを大幅に拡張し国内販売開始
仮想環境管理ソフトウェアを強化することで、真の統合監視・管理ソリューションを実現**

ダイキン工業株式会社は、ネットワーク・サーバ統合監視ソフトウェア『Orion (オライオン)』を中心とする、米 SolarWinds 社製の ITシステム統合管理・監視ソリューションにおいて、ネットワーク、仮想環境、ストレージ監視・管理領域の製品ラインナップを大幅に拡張し、全 11 製品で販売します。

今回、2011 年 10 月よりネットワーク、サーバ、アプリケーションの監視・管理領域を中心に販売を開始していた SolarWinds 社製の「Orion (オライオン)」と同一プラットフォーム上で連結可能な監視・管理製品 8 製品を追加し国内販売開始します。



従来企業のネットワーク管理者や、システム管理者などは、それぞれ専門の監視・管理製品を用いて ITシステムを運用していましたが、クラウドをはじめとし、ITシステムが益々複雑、高度化し、またダウンタイムも許されない状況の中で、その運用は一部の熟知した管理者に依存する傾向にありました。さらに、複雑化した ITシステムの各障害情報は、統合的に分析し、対応する必要があり、情報を横断的に分析できる監視・管理システムを必要とする傾向にあります。

米 SolarWinds 社製のソリューションは、世界で唯一同じプラットフォーム上で、企業のネットワーク、サーバ、アプリケーション、仮想環境、ストレージを監視・管理することが可能なソリューションです。さらに、特定機器の状況だけでなく、“エージェントレス”で関連する全ての機器、システム、アプリケーションなどを監視・管理することが可能です。

今回のネットワーク、仮想環境、ストレージ領域での製品ラインナップ強化により、同一プラットフォーム上で真に統合監視・管理が可能なソリューションが実現します。また、各機能は個々に単体で導入することが可能なため、企業によって需要の高い部分から導入し、徐々に監視・管理エリアを拡張することも可能です。

当社は、既存のお客様だけでなく、新規導入も積極的に行い、2012 年 3 月末までに 30 社以上への導入を目指します。

■SolarWinds 社について

SolarWinds 社 (NYSE: SWI) は、Fortune 500 社などの大企業から中小企業まで、世界各国のお客様に強力で、低価格、使い勝手が良い IT 管理ソフトウェアを提供しています。また Fortune 500 社のうち 425 社が同社製品のユーザーでもあります。2010 年の売上は約 1 億 5200 万ドル、年率の売上げ成長率は+31%と、Forbes 誌から「2010 年に 10 番目に急成長した U.S. のテクノロジー会社」と評価される企業です。詳しくは、<http://www.solarwinds.jp/intl/home/>をご覧ください。

■『米 SolarWinds 社のネットワーク・サーバ統合監視・管理ソリューションについて

(<http://www.comtec.daikin.co.jp/IM/prd/orion/prd/>)

(製品構成)

・共通

エージェントレス、簡単設定、WEB を利用した直感操作、
スモールスタートできる価格体系 (29 万円～)

- **Orion Network Performance Monitor (略：NPM) — ネットワーク監視**
 ネットワーク・サーバの構成管理、障害監視、パフォーマンス監視、イベント管理、レポートの自動化で簡単管理。仮想環境/無線LAN/TRAP/Syslog も統合管理でき障害を横断的に把握。
 柔軟なアラートで重要な障害だけを必要な情報と共に通知可能。
- **Orion NetFlow Traffic Analyzer (略：NTA) — ネットワーク解析**
 NetFlow、sFlow、J-Flow、IPFIXに対応し通信をプロトコル別や通信元/通信先を見える化。
 ボトルネック把握、障害時の原因追及や不要トラフィックの発生源を突き止めることが可能。
- **Orion Network Configuration Manager (略：NCM) — ネットワーク機器コンフィグレーション管理**
 ネットワーク機器/ロードバランサ/ファイアウォール等のコンフィグのバックアップ自動化・世代管理、コンフィグ消失しても安心。セキュリティポリシーへの合致判断や差分抽出も簡単。
 障害発生時も変更前後のコンフィグ比較、変更箇所が一目瞭然、すぐにリカバリー可能。
 マルチベンダーサポート、同一GUIよりコンフィグ一括変更で作業時間を劇的に短縮。
- **Orion IP Address Manager (略：IPAM) — IPアドレス管理**
 既存IPアドレス管理台帳をインポート、IPアドレス台帳管理自動化。管理工数かけずに現在のIPアドレス使用状況を把握。固定IP/DHCP一元管理。
- **Orion IP SLA Manager (略：IPSLA) — WAN性能管理**
 ネットワークの様々なレスポンスの把握が可能。通信障害が起こりやすいVoIPの音声品質監視。
 Ping以外のHTTP、FTP、DNS等レスポンスも監視。
- **User Device Tracker (略：UDT) — デバイス追跡**
 全社の機器をIP/MAC/HOST名レベルで自動検知、接続場所を接続ポート単位で把握。
 「いつまで」「どこに」接続していたのか簡単把握、セキュリティ対策にも有効。
 ダムハブ接続も把握でき、障害対応を迅速化。
- **Orion Application Performance Monitor (略：APM) — アプリケーション監視**
 サーバ、アプリケーションの障害・パフォーマンス監視・リソース監視。
 Exchange、Lotus、SQL、Oracle、Citrix XenApp、ESX、AD、Windows、Linux等の監視テンプレートを豊富に用意、すぐに簡単に監視可能。DNS等のサービスやプロセスの監視も可能。
- **Synthetic End User Monitor (略：SEUM) — Webアプリケーション体感レスポンス監視**
 Webアプリケーションのトランザクション監視でユーザの体感レスポンスを監視。
 クラウド、SaaS、社内アプリ利用時、障害予兆・レスポンス悪化予兆をユーザより先に把握し
 トラブルの早期対処が可能。
- **Virtualization Manager (略：VM) — 仮想環境管理**
 アプリ/仮想マシン/ハイパーバイザ/ストレージの依存関係と稼働状況を自動マッピング、動的な変化にも追従、障害時の原因追及が容易。
 仮想環境の設定比較でおかしな動きをする仮想マシンの変化点と原因特定可能。
 リソース過剰割当の仮想マシン抽出や改善点のレビューが行え、キャパシティプランニング効率化と投資効果の最大化が可能。
- **Storage Manager (略：STM) — ストレージ管理**
 マルチベンダーのSAN、NAS、ファイバーチャネル、DASのパフォーマンス監視、分析、利用予測、レポート、アラート。サポートベンダー 3PAR、NetApp、Dell、EMC、Hitachi、HP、IBM、ONStor、SGI、Sun、Xitech、Pillar。
 長期間アクセスしていないファイルやデータをレポート、ストレージリソースの節約支援が可能。
 ストレージのホットスポット検知、レスポンス深刻化する前に対応可能。

仮想マシン毎のストレージ I/O ピーク時間等も容易に把握。

シンプロビジョニング展開の表示、分析、計画をサポート。

• **Backup Profiler (略:BP) – バックアップ監視**

定期バックアップが所定時間内に終了できない問題の事前通知、早急な原因究明が可能。

バックアップの監視とレポート。サポートしているバックアップソフトウェア

CA ARCserve®、EMC® Networker®、IBM® TSM、Syncsort Backup Express、

Symantec™ Backup Exec™、NetBackup™、CommVault、Quantum

(動作環境)

CPU : 3.0GHz

メモリ : 4GB

ハードドライブ容量 : 20GB

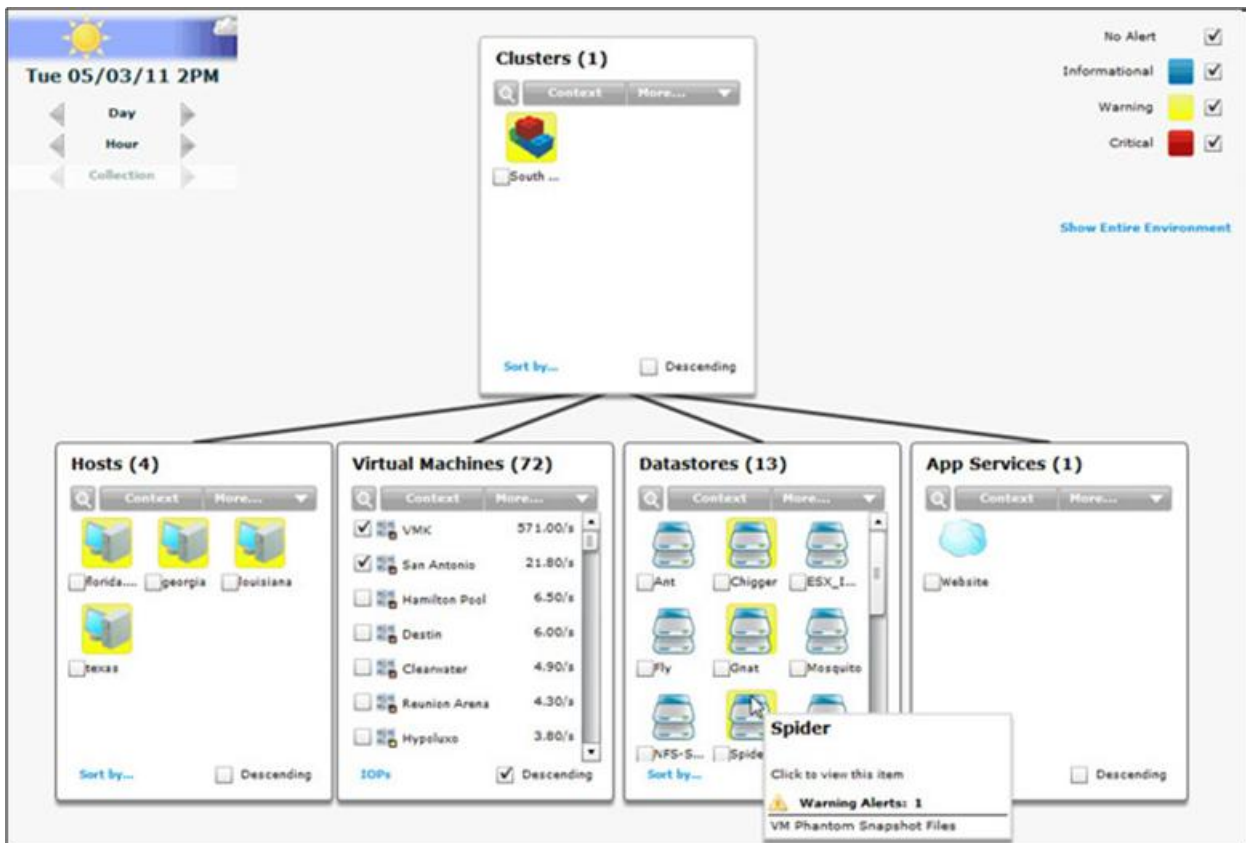
OS : Windows Server2003 または 2008 (32 ビットまたは 64 ビット)、R2 を含む。

.NET Framework 3.5

Web サーバソフトウェア : IIS (32 ビットモード)

データベース : SQL Server 2005 SP1 または 2008 (Standard、Enterprise のいずれか)

(管理画面イメージ)



Virtualization Manager 管理画面例 (Virtualization Dependency Mapping & Time Travel)

●本商品に関するお問い合わせ先

ダイキン工業株式会社 電子システム事業部 営業部

E-Mail : info@comtec.daikin.co.jp

【東京支社】〒108-0075 東京都港区港南二丁目 18 番 1 号 JR 品川イーストビル

TEL : 03-6716-0462